

第4 2回運営小委員会 議事録

1. 審議期間：令和2年5月25日（月）～5月29日（金）

2. 審議方法：書面による審議

※部会ホームページに掲載する書類を確認し、ホームページのコメント機能を活用して意見を集約

3. 議題

(1) 前回議事録の確認

前回運営小委員会議事録について了承された。

(2) 2020年度以降の活動計画について（審議）

企画担当委員及び定例研究会WG委員による資料に基づき意見を集約した。

（今後の方針）

・NPC2020は2021年9月（NPC2021）に、AWC2021は2022年10月（AWC2022）に延期された事に伴い、NPC2021及びAWC2022への対応方針については2021年3月の運営小委で審議、決定する。

・今年度末に運営小委員会選挙が予定されるため、他部会との連携強化のための方策を検討する。

・水化学部会の夏期セミナーは、2023年8月に日立GE殿幹事での開催を計画する。

・2020年秋の大会の企画セッションは見送り、2021年春の年会での企画セッションに向けて引き続き検討する。

上記の方針について、了承された。なお、AWC2022についてはCOVID-19の今後の状況に応じた検討が必要となる可能性があること、また当面の活動計画が少ないことから新たな企画立案が望まれることなどのコメントがなされた。

(3) 第38回定例研究会（10月）の開催判断と開催する場合のプログラム案について（審議）

定例研究会WG委員による資料に基づき意見を集約した。

第38回定例研究会の開催は中止し、次回の定例研究会は2021年春とする提案について、基本的に了承された。第38回定例研究会は中止を前提とするものの、リモート開催に必要な準備が早めに整えば開催を調整することとなった。

(4) 第18回全体会議資料について（審議）

3月6日の運営小委で審議及び全体会議で報告予定であった資料について意見を集約した。

特段のコメントは無く、了承された。

(5) ホームページにおける欠損情報追加に関する今後の対応（審議）

ホームページ管理 WG 委員による資料に基づき意見を集約した。

昨年末にメールで配信したホームページにおける欠損情報について、運営小委議事録、定例研究会及び全体会議資料のうち現時点で収集できている情報が提供された。欠損情報の収集は一旦終了し、今後情報が欠落しないための方策を検討することとなった。なお、三部会合同を含むサマーセミナー資料については、材料及び核燃部会では部会報を活用して報告していること、サマーセミナー資料のホームページでの公開に当たっては講演者の了解の要否など検討すべき事項があることがコメントされた。

(6) 部会賞の選考結果について（報告）

担当委員による資料にて、部会賞の選考方法、奨励賞及び講演賞の受賞者が報告された。本件については、部会賞選考小委員会からの報告事項として位置付けるべきではないかとのコメントがなされた。(7) 2020 秋の大会における講演賞の選考委員について（報告）

担当委員による資料にて、2020 秋の大会の講演賞選考委員は、プログラムなど状況が整った後に調整する旨の報告がなされた。特段のコメントは無かった。

(8) AWC2021 の日本開催に係る準備状況について（2022 年への延期と今後の対応方針について）（報告）

AWC2021WG 委員による資料にて、NPC2020 の延期に伴い AWC2021 も 2022 年秋へと延期すること、場所は引き続き東北大青葉山キャンパスとすること、三密対策など会議形態の見直しの必要性が生じる可能性があることについて報告された。特段のコメントは無かった。

(9) NPC2020 への参加対応（2021 年秋への延期について）（報告）

企画担当委員による資料にて、NPC2020 が中止となり NPC2021 として 2021 年 9 月 27 日～10 月 1 日に開催されることが報告された。特段のコメントは無かった。

(10) 水化学ロードマップのフォローアップ状況について（報告）

水化学ロードマップ WG 委員による資料にて、電子版が 2020 年 3 月 5 日に水化学部会 HP で公開されたこと、印刷版は運営小委の承認を経て年度内に 30 部印刷することが報告された。ロードマップの印刷について了承された。

(11) 水化学ハンドブックの改訂状況について（報告・審議）

水化学ハンドブック改訂 WG 委員による資料にて、改訂の進捗状況の報告とともに当初計画の 9 月の発刊は間に合わず発刊時期を 12 月に延期することが提

案された。対応が遅れている部分についての至急の対応が要請されるとともに、発刊時期の延期について了承された。

(12) シビアアクシデント時の核分裂生成物挙動研究専門委員会について（審議）

内田顧問による資料にて、同専門委員会の活動状況と今後の計画が報告された。当初活動期間の終期になる 2021 年 3 月にこれまでの 4 年間の活動成果を技術報告書として原子力学会より発行すること、2021 年 4 月以降は名称、体制を変えて研究専門委員会を継続することについて了承された。

(13) その他（審議）

庶務担当委員による資料に基づき、リモート化推進ワーキンググループの設置が提案された。同 WG の設置について了承された。

以 上